

推進しました!

- ・妊婦へのワクチン優先接種
- ・自宅療養者への医療・相談体制の強化
- ・20%以上売上減少の区内事業者
に支援金給付

緊急要望提出



板橋区議会公明党は、坂本健区長に対し、新型コロナウイルスに感染した自宅療養者に対する相談支援や、飲食料品などの支援物資を速やかに提供する体制の強化を要望しました。

また、経済的に苦しむ区内事業者への支援を充実させるため、区独自に一時支援金を支給することを要請しました。



<令和3年度 第3回区議会定例会>

9月22日区議会公明党の代表として一般質問を行いました。

主にコロナ禍・ポストコロナを見据えた「女性支援」など23項目にわたり行い、対策の更なる拡充等を訴えました。



生理の貧困

生理の貧困対策について、生理用品を無償で配布する動きが各地で広がっている。必要としている方に着実に届くような配慮を。

区長：必要な方に物資が行き渡るよう、配布状況を踏まえ、効果的な配布方法や場所について工夫していく。

女性がん患者への支援

女性がん患者が見た目を気にせず外出できるよう、民間で実施するウィッグの無償貸与制度の周知や、区としてのアピランス支援助成金制度の創成を検討すべき。

区長：女性健康支援センターでは、アピランス支援に関する相談に応じ、情報提供に努めている。助成金制度の研究を含め、支援していく。

带状疱疹ワクチン接種助成

長く痛みが続く带状疱疹の予防は、高齢者が健康でいられる社会を目指すうえで意義があると考えます。区でも接種費用助成を行うべき。

区長：带状疱疹ワクチンは任意接種であり、厚生科学審議会において定期接種とするか検討中と聞く。厳しい財政状況の中、新たに費用助成を行うかは検討課題とする。

保育園の定員未充足に対する支援

私立保育園において、定員未充足は存続に関わる喫緊の課題である。時限的な補助金を設けるなど、柔軟な対応で支援を。

区長：地域別に保育需要を見極めつつ、場合によっては区立園の定員を調整し、安定した経営に資するとともに、各園と情報共有し連携を図る。

福祉園における安定的な障がいサービス

車いす加算の配置基準に基づき、人員を追加で配置しているが、障がいの重度化が進む中で、今後より手厚い配置は想定しているか。

区長：更なる重度化に対応した人員配置のあり方は、民営化も見据え、福祉園全体で検討を深めていく。

福祉園における安定的な障がいサービス

医療的ケア児者など、車いす利用者以外を受け入れる際の配置基準について、今度の検討の考えは。

区長：車いす利用者以外は、個々の利用者の状況を踏まえ追加で配置している。安定した運営体制の確保のため、新たな配置基準のあり方を検討していく。

人工呼吸器用の非常用電源について

災害などにより停電した場合、在宅人工呼吸器使用者の命を守るため、非常用電源装置の購入助成を早急に実施すべき。

区長：難病のため人工呼吸器を使用する場合、都が自家発電装置の購入費を全額補助している。難病以外の場合は都の補助が半額となるため、残りの半額を区として補助する制度を検討している。

高島平4・5丁目における買い物の不便さ対策

高島平4・5丁目は第一種低層住居専用地域でありコンビニなどの小規模店舗が出店できないが、適切な場所への出店を検討すべき。

区長：低層住居専用地域におけるコンビニなどの立地に対する許可については、国からの技術的助言に基づき、立地の妥当性や利便性への影響などを踏まえた許可基準を策定し、運用している。

西高島平駅店舗について

西高島平駅構内の店舗が閉店し、買い物が不便になっている。区として空き店舗への募集を働きかけては。

区長：区では買い物の利便性向上のため、運営主体である都営交通協力会に対し、商業店舗の募集を働きかけており、今後も継続していく。



お問い合わせはこちら

区政に対する「ご意見・ご要望」をお聞かせください

しば佳代子 公明党控室 TEL:3579-2715 自宅 高島平3-10-8-402